

調査研究助成
我国及び海外の若手研究者によるアジア・オセアニア諸国・地域

2008 年度
研究助成 [14件]

- (1) 人的移動から見た中国革命
－経済人脈の変動を中心に－
(林 幸司)
- (2) ラオス北西部における青銅器文化研究
－銅鼓関連遺跡を中心に－
(川島 秀義)
- (3) 植民地台湾における言語政策研究
－台湾語の書記言語を中心に－
(黄 馨儀)
- (4) 発展途上国における貿易自由化と経済発展
インドの労働市場に焦点を当てて
(伊藤 高弘)
- (5) 植民地期バンテンと外部世界との間のヒト・モノ・情報の交流
(藤田 英里)
- (6) 東南アジアの銀行業へのバーゼルⅡ 導入過程の研究
－タイとインドネシアの比較
(石川 耕三)
- (7) 中国吉林省におけるトウモロコシ産業の発展に関する研究
－農業政策の転換と経済主体の行動変化
(張 馨元)
- (8) タイにおけるトランスナショナルなイスラーム復興運動と
その社会的影響 －Jemaah Tabligh を事例に－
(小河 久志)
- (9) 民俗芸能における非言語的コミュニケーションについての
実践的研究 －韓国の「農楽」の習得過程を事例として－
(田中 理恵子)
- (10) ミンダナオ紛争にみる貧困と開発の再構築
(谷口〔前川〕美代子)
- (11) グローバルな空間における親密性の売買
－在韓米兵相手のフィリピン人女性の移住「性労働」に関する人類学的研究－
(徐 玉子)
- (12) 北朝鮮の観光政策に関する総合的研究
－外国人観光客の受け入れを中心に－
(磯崎 敦仁)
- (13) 事実としての精霊
－ビルマにおけるナツ信仰をめぐる人とモノの実践から－
(山本 文子)
- (14) インドネシアの民主化に対する国際的な支援
－選挙監視団への国際的支援を中心に－
(Asra Virginita)